ひと息にも、ありがとうにも。

01 一杯の始まり

00.0 - 01.2 s



画：ドリップバッグへ細く注湯。紙・湯・コーヒーの質感で引き込む。

音：注ぐ音を先行。カメラは固定した寄り。

02 液面の余韻

01.2 - 03.0 s



画：小さな波紋と、光を受ける控えめな湯気。抽出の余韻をつなぐ。

編集：細かな滴と波紋のタイミングに合わせて接続。音楽は薄く。

03 忙しい朝

03.0 - 04.5 s



画：時計と鞄で出勤前の気配を伝える。コーヒーは生活の中に置く。

コピー：忙しい朝にも。

04 カップへ伸びる手

04.5 - 06.0 s



画：カップに触れる直前、小さな間をつくる。手指と取っ手を丁寧に見せる。

撮影用参照で調整：朝→午後の取っ手の向きと、カップの位置・大きさ。

ひと息にも、ありがとうにも。

05 ひと息ぶんの余白

06.0 - 10.0 s



動き：一口 → 短く息を吐く → カップを戻す。画像は飲んだ直後の瞬間。
表情：目元がほどける程度。終了時のカップ位置を次へつなぐ。

06 本を閉じる午後

10.0 - 13.0 s



動き：本を閉じる → 両手でカップを包む。画像はその途中の瞬間。
コピー：自分に戻る時間にも。

07 窓辺の静けさ

13.0 - 17.0 s



画：窓へ視線を移し、肩の力が抜ける。午後の柔らかな光を長く見せる。
カメラ：ごくゆっくり横移動。最後にカップを少し下げ、夕方へ。

08 一杯を、そっと置く

17.0 - 20.0 s



画：CがDの前へカップを置く。机に接してから手を離す。
音：カップの接触音を同期。手渡しや乾杯は入れない。

ひと息にも、ありがとうにも。

09 ありがとうを受け取る

20.0 - 22.0 s



画：Dが見上げ、小さくほほえむ。相手の反応を待つ間を残す。

コピー：言葉にしきれない、ありがとうにも。

10 それぞれの一杯

22.0 - 25.0 s



画：向かい合う二人が、自分のカップを包む。カップは奥行きで配置する。

文字案B：22.2秒から主コピー。元の表示順を守る案Aも選択可。

11 商品と余韻

25.0 - 30.0 s



画：生成りの袋と深緑の帯、淹れたコーヒー。文字は後から正確に合成。

参考B案：ブランド → 締めコピーの順で表示し、最後は止めて読ませる。

自主制作 / 架空ブランド | AI生成による参考コンテ。人物· 商品の見え方は仮設定です。動画は未生成。

文字と動きの仕上げ

参考：文字案B

ひと息にも、ありがとうにも。

ひと息珈琲

あなたの毎日に、一杯のよりそい。

表示要素の一覧です。実際は同時に出さず、下記の順番で表示します。

22.2秒 主コピー → 25.0秒 ブランドと帯 → 25.4秒 締めコピー。

文字は約6pxの上移動 + フェード。25.7秒以降は静止し、30秒まで保持。

撮影用参照の確定前に、カップの向き· 位置· 中央9:16の構図を調整します。